



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひの かふち

《学校だより》 第11号

令和4年9月30日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

日差しの強いときはまだ暑さを感じますが、朝晩は爽やかな風が吹いて秋らしくなってきたなと思います。先日、3年生が音楽朝会で素敵な歌声とリコーダーの音色を全校の子どもたちに披露してくれました。全校の人たちから拍手を贈られて、3年生は晴れやかな笑顔でした。今年は3年ぶりに音楽朝会を復活させ、しかも体育館に全校の子どもたちが集まり、互いに聴き合うことにして本当に良かったと思います。人と人が顔を合わせて活動することによって、心が通い合う瞬間があることを実感しました。音楽朝会については「まず今年は、子どもたち同士で聴き合うことから再開しよう」ということで保護者の方の参加は控えさせていただきます。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

今年の運動会は・・・

10月22日(土)に運動会を予定しています。今年度も昨年度同様に、コロナ感染症予防対策として密を避けるため、制限を設けての実施となります。

- ・弁当・給食なしの午前開催
- ・演技・競技は低、中、高学年ごとに時間を分けて実施
- ・参観は、低、中、高学年ごとに入れ替え制で
- ・家族の参観は3名程度まで

ただし、昨年度と違うのは種目が増えたことです。各学年ともに徒競走と表現ダンス、そして学年種目が加わりました。

運動会に向けて、学年やブロックごとに練習も始まっています。



石を拾う1・2年生

練習の時も密を避けるため、間隔を空けながら進めています。また、9月22日(木)に1・2年生が運動場の石拾いを行いました。そのおかげで、全校の子どもたちが安全に気持ちよく練習に打ち込むことができます。

読み聞かせボランティア

月曜日の朝、「おはなし わん：わん わん」の方々が年間18回来校してくださり、学年ごとに読み聞かせをしてくださいます。どの学年も夢中になって楽しそうに聞いています。読み聞かせボランティアの方々は、毎回、本の選定を工夫したり読み聞かせ終了後、地域活動室で振り返りをしたりと、子どもたちのためにいつも熱心に活動してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。



集中して聞く子どもたち

進化・発展する「放課後まなび教室」

9月22日(木)と27日(火)に「まなび秋祭り」に招待されました。これは、毎週火曜日と木曜日に行われている「放課後まなび教室」の子どもたちが準備し、秋祭りを実施したものでした。

この「放課後まなび教室」は、平成25年1月から始まりました。当時の渡邊校長が「放課後も子どもたちが安心して学んだり体験したりできる場をつくりたい」という思いを、教務だった下田先生と教頭だった私の3人で相談して「放課後まなび教室」を創るための計画を立てました。3人の保護者の方にコーディネーターをお願いし、お手伝いをして



まなび秋祭りの様子

くれるスタッフも募集して、平成25年1月から教室をスタートさせました。当初は、4年生以上を対象に、毎週木曜日の放課後の実施でした。その3ヶ月後の3月末には、下田先生と私は他の学校に異動したため、「放課後まなび教室」には全く関わるができなくなりました。しかし、偶然にも何年か後に、2人ともこの学校に戻ってきたのでした。

戻ってみると驚きました。「まなびタイム」と「活動タイム」という「学びと体験」の基本理念は変えずに、活動の枠が大きく進化・発展していました。活動日が木曜日だけでなく火曜日も増え、土曜日にも「まなびプラス」として実施していました。対象も全校児童からの募集となっていました。「活動タイム」についても外部講師を呼ぶなど内容が充実していました。このように、進化・発展した原動力は、10年の間バトンをつないできたコーディネーターやスタッフの方々の意欲や努力・工夫だと思います。子どもたちが素敵な笑顔で活動している姿を見て、それを強く感じました。

(その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中)

<https://www.yusho.site/>